

「いずみルーム」の紹介

(特別支援教室)

発行：巡回指導教員

下地 智子
高田 絵里子
鈴木 奈々
中村 岳史

保護者の皆様へ

①特別支援教室とは？

東京都では、平成28年度から平成30年度までの3年間で、都内全ての小学校に特別支援教室が開設されました。本校でも29年度より、「特別支援教室（いずみルーム）」が開設され、巡回指導の制度が始まりました。それまで情緒面での特別な支援を受けるには、大泉小学校の「情緒障害等通級指導学級（いずみ学級）」に通級する形をとっていましたが、29年度からは、本校に設置された「いずみルーム」で指導を受けることができるようになっていきます。

☆特別支援教室とは…

おおむね通常の学級の学習に参加できるものの、主に情緒面で困難なことや苦手なことがある児童に対し、その課題を解決する学習や支援を行うための教室です。児童の状態に応じて、「自立活動」や「特別の指導」などを行います。

児童にとって
困難なこと、
苦手なことの例

- ◆コミュニケーションがうまくとれない
- ◆相手の立場になって考えることが難しい

- ◆集中し続けることが難しい
- ◆授業中に席を離れてしまったり、質問が終わらないうちに答えてしまったりするなど、他の児童と同じペースで学習することが難しい

- ◆音読が苦手である
- ◆書くことが苦手である
- ◆計算が苦手である
など、一部の学習に著しい課題がある



特別支援教室で行う指導

- ◆ロールプレイなどを通じて、適切な会話ができるようになるための指導
- ◆物語の登場人物の気持ちを考えるなどの指導

- ◆提示する情報量を調節しながら、必要な情報を見分けたり、聞き分けたりする力を高めるための指導
- ◆順番に人の話を聞くなど、ルールに従って行動できるようにするための指導

- ◆自分に合った学習方法を習得し、その方法を取り入れて、国語や算数等の学習ができるようになるための指導

②いずみルームの体制について

◎教職員

- ・巡回指導教員 4名（指導日：木曜日）
※大泉第三小学校を拠点校とし、大泉西小学校、大泉学園緑小学校、大泉桜学園（小学部）の3校を巡回し指導しています。
- ・特別支援教室専門員 1名（本校に常勤）
※専門員は、児童の観察や記録、教員（巡回指導教員と担任）や保護者との連絡調整などを行います。
- ・いずみルーム担任は曜日ごとに各校を巡回しています。お子さんの在籍校以外の電話番号から連絡がいくこともありますので、ご承知おきください。

<月・水> 大泉第三小学校（拠点校） 03-3925-2466/03-3925-3222
(いちょう学級)

<火> 大泉桜学園 03-3924-1126

<木> 大泉西小学校 03-3925-5832

<金> 大泉学園緑小学校 03-3925-7233

◎指導日、指導時間、指導内容

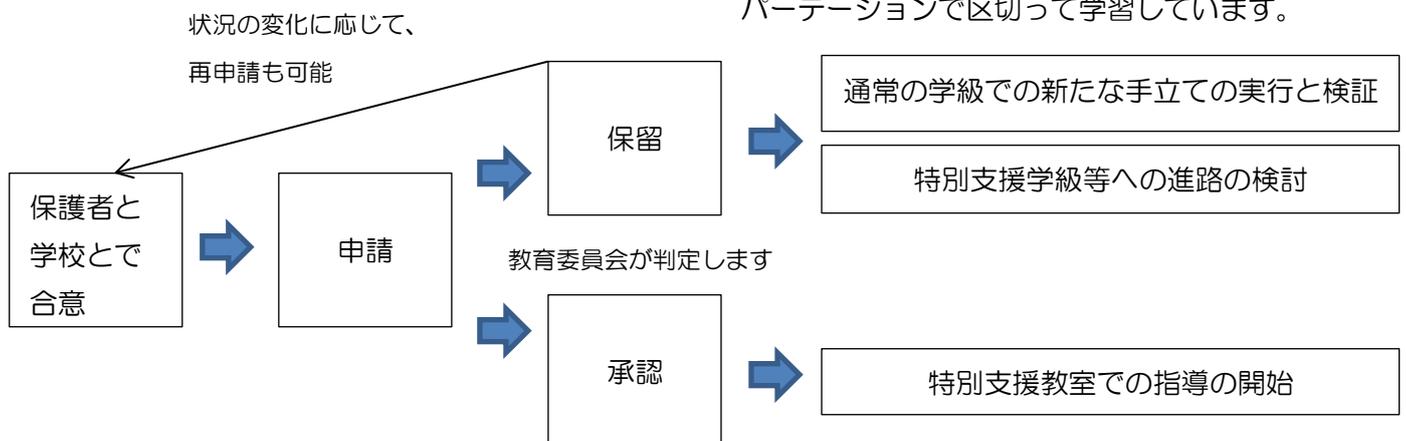
- ・指導日は、木曜日が基本になります。
- ・対象児童は、週に1～2時間^{在籍学級の授業を抜けて}、いずみルームで指導を受けます。
- ・児童一人一人の課題や実態に合わせて、時間割を作成し、学習内容を工夫します。指導形態は、個別指導と小集団指導が主となります。



③入級と退級について

◎入級の手順

いずみルームは、3階のほっとルームの隣にあります。
パーティションで区切って学習しています。



◎退級について

- ・特別支援教室の通級は、1年間が原則です。年度末に退室するか継続するかを決定します。

いずみルームについての質問や相談については、学級担任を通してご連絡ください。